石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成17年度石桜同窓会 通常総会 開催

村上照五郎 同窓会長に代わり 小枝指 博 副会長が会長に

平成17年度石桜同窓会通常総会は、11月18日(金)午後6時から盛岡市駅前通のホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。

総会にはおよそ60名が出席、会務報告、決算、予算案が審議され原案通り可決、かねて辞意を表明していた村上照五郎会長に代わって、小枝指博(新9回)副会長が就任することになった。

総会は同窓会事務局の川村康二先生(新24回)の司会で開会、冒頭村上照五郎会長が登壇して次のように挨拶した。

「去る22日東京石桜会があり、自分も出席、50名程の出席だった。昨年総会で可決いただいた石桜同窓会賛助会費制度は順調に滑り出し、最近の集計では約427万円が入金されており、来年の母校創立80周年を前に大変心強いことである。20万円のフェロー賞もすでにトップは新5回生1グループ、続いて個人7名を数えるに至った。一年だけでなく毎年のことなので、これからもどうぞよろしく願いたい。

また同窓会名簿も、在庫がなくなるので改訂版を作らなければならない。皆さんの意見をよく聞いた上で慎重に進めたい。」

次いで登壇した来賓の岩手奨学会・遠藤貫中常務理事は、この春新17回卒の伊藤勢至氏が県議会議長に就任したが、その各界を網羅するお祝いの会が9月15日開催され、自分もその祝宴に招かれたこと、また、学校では私立校の特色を鮮明に打ち出すため中・高合わせて6年間の時間割を考え、大学進学に役立てたいという狙いを掲げた。岩手中学校への進学に協力してほしいと訴えた。

石桜同窓会役員改選期に当たり数人交替

続いて議長選出では長谷川哲吾(新13回)氏が選ばれ、次の順で審議に入った。

(一) 会務報告
(二) 16年度一般会計決算報告及び特別会計決算報告
(三) クラブ強化育成基金報告
(四) 監査報告
(五) 17年度事業計画案審議
(六) 17年度一般会計予算案審議及び特別会計予算案審議
(七) 賛助会費について
(八) 会員名簿について
(九) 役員改選について

と続き、決算審議の前に玉山哲史(新11回)監事の監査報告を挟んで進行した。

役員改選については村上照五郎会長からの辞意を含めて説明があり、次のような新役員の案が提示され、承認された。

会長　小枝指博(新9回)
副会長　竹花國夫…辞任
副会長　村井紀之(新18回)
(新)　明戸　均(新21回)
監事　菅原一也(新31回)
監事　照井安彦(旧9回)
監事　玉山哲史…辞任
(新)　小苅米淳一(新13回)
(新)　見世久也(新16回)

総会も順調に進行

総会は以上でスムーズに閉幕した。

今年の懇親会運営は5・15・25回生の手で

新設の石桜フェロー賞第一号に輝いた新5回生を代表して、村上昇氏が懇親会の司会を担当してマイクを握った。

まず今年のアトラクションを飾ってくれる母校吹奏楽部の諸君を紹介、平成14・15年度マーチングフェスティバルグッドサウンド賞、16年度吹奏楽大会バンドジャーナル賞に輝く母校現役の10余名、指揮は菊地治雄校長のあと、指導をしている永田先生等が駆けつけ華やかに、そして力強く会を盛り上げた。

30分程の演奏のあと、新同窓会長が新旧副会長と共に登壇、次のように挨拶をした。

小枝指新会長の挨拶

「私の父は戸嶋先生と同期、また私は、昭和26年入学、32年卒だが、高校2年のとき甲子園夏の大会に同学年からエースピッチャーなど4人を送って、80年の歴史の中で大輪の花を咲かせた。ぜひ岩手中、高校のこれからを同窓会長として応援したい。」更に菊地治雄校長(新10回)は、「四年間ご苦労頂いた村上照五郎同窓会長は、自分にとっては先輩として教師として大変お世話になった。来年度から少し学校を変えていこうと思っている。今まで特進クラスは一つだったが、特理、特文と分けて50分授業を45分につめ、折角の中・高一貫教育を活かしハイスピードで実績を上げ、家族特待生免除制度で入学金の免除も考えたい。よろしく応援を願いたい」と結んだ。

乾杯の音頭は足澤至(旧17回)元先生が杯を掲げ、祝宴に入った。

懐旧交歓盛んに

平成16年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	3,952,967	
利子	32	
返戻金	500,000	生徒会CD売り上げから500,000円(残債0円)
合計	4,452,999	

支出の部

項目	決算額(円)	備考
教育後援会補助	0	
部活動褒賞	194,102	褒賞金、賞状、表彰楯
合計	194,102	

繰越金　4,258,897円

母校の改革と発展に全力を

石桜同窓会会長　小枝指　博

去る10月28日開催の石桜同窓会総会に於いて、会員各位のご推挙により、会長に就任することになりました。まことに身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いをいたしております。

歴代の会長はひとしく豊富な経歴、識見、手腕等の持ち主で、すでに皆様よくご存知の、会長として全く理想的な方々でいらっしゃいました。浅学非才の私が、会長の要職を十分に果たすことが出来るか、一抹の危惧が無いわけではありませんが、皆様方のご指導、ご協力をいただき最善の努力を尽くして任に当たってまいりたいと存じます。

私は新9回生で、昭和26年岩中に入学、昭和32年卒業させていただきました。高二の時、野球部が夏の甲子園出場を成し遂げ、同期生ではエース・ピッチャー村川君をはじめ、澤野君、佐々木君、名久井君が活躍しました。卒業後、『九櫻会』と称する同期会を行っていますが、同窓生には今でも『甲子園同期の何某』と自己紹介したほうが通りがいいようです。当時、夢の甲子園への道を開いた快挙は、岩手に岩手高ありと天下に知れ渡ったのであるから、誰もが母校に限りない誇りを抱きました。創立以来80年の長い歴史の中でも最大の華であり、何時の日かあの感動を再び味わいたいものであります。

母校では、来年度から中高一貫教育の更なる推進に取り組むこととしています。創立者・三田義正翁の目指された、私学ならではの建学の主旨を具現するためには、中学校の充実を図り、いまこそ以前のような中高一貫教育の再現を図り、ゆとりのある自由な学園生活の中で面施行された個人情報保護法との兼ね合いです。学校が主導する形では、同窓会名簿を作らないところが増えているといいます。卒業アルバムも、生徒の住所は記載を控えることが多い。

それぞれの生徒の個性を重視し、希望する道に相応しいゆったりとした人間教育を是非とも実現していただきたいと願ってやみません。

近年、情報保護が問題提起されています。少年を取り巻く環境は生活指導面の取り組みに当たって、プライバシー意識の高まりが壁となり、困難の度が増してきております。

この問題を一層難しくしているのは、今年四月に全学級の連絡網も作れない親は、子供のクラスメートや保護者のことは殆ど分からない。情報の保護がこのまま続けば学校と家庭、地域の関係はますます変わっていくことでしょう。

個人情報保護法が保護の対象としているのはデータであり、本人の知らないところで自分の情報がやり取りされるような事態を防ぐのが目的であります。同窓会やクラスの名簿は、各個の了解を前提にそれぞれがしっかり管理しつつ、利用目的に合致する範囲で使う分には問題ないと思います。

事実、部活動では多くが連絡網を活用しています。漏洩防止へ転ばぬ先の杖で、はなから情報を持たない傾向が、学校の判断から保護者の意向か判然としないが、情報保護法への過度な反応は各家庭の孤立化や、同窓生の希薄化につながらないか危惧されるところです。

同窓会会則にもあるように親睦、交誼は当然ながら緊密な同窓生の接点を模索し、母校の発展に如何に寄与するかが、最も重要であるという観点からも、同窓会名簿はこれからも必要欠くべからずのものと考えますが、如何でしょうか。

終わりに、私学の独自性を十二分に発揮できる環境づくりのために、在校生の奮起を願い、職員・岩手奨学会・石桜同窓会各位が一丸となって、母校の新しい改革と発展に全力を尽くし、人材育成の夢を実現することを祈念してご挨拶といたします。

平成16年度　石櫻同窓会　事業報告

平成16年8月24日	常任委員会	於　きのえね支店
平成16年9月14日	監査会	於　きのえね支店
平成16年9月21日	理事会	於　きのえね支店
平成16年10月15日	総会	於　ホテルメトロポリタン盛岡
平成16年12月	同窓会報発行	
平成17年4月26日	役員打ち合わせ	於　岩手高等学校応接室
平成17年5月10日	常任理事会	於　きのえね支店
平成17年8月19日	打合会	於　弥まもと
平成17年8月23日	常任理事会	於　きのえね支店
平成17年9月13日	監査会	於　きのえね支店
平成17年9月20日	理事会	於　きのえね支店
平成17年10月28日	総会	於　ホテルメトロポリタン盛岡
平成17年12月	同窓会報発行予定	

平成17年度　事業計画

1．指針
母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える。

2．事業計画
(1) 母校クラブ活動を積極的に支援する。
(クラブ強化育成基金の適切な活用)
(2) 会員相互の親睦交流を図る。
(支部、地区会、クラス会等の節目を重視した集会を盛んにする)
(3) 本部と支部・地区会等の連携を図る。
(相互に情報を提供する)

不動産仲介業
Links 有限会社　リンクス
桑原　伸行(新22回生)
〒020-0173　岩手郡滝沢村滝沢字葉の木沢山405-22
TEL019-694-1611　FAX019-694-1610

平成17年度予算

I　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成16年度予算額
会費	1,169,000	1,134,000
入会金	835,000	810,000
総会会券代	350,000	350,000
賛助会費	1,000,000	—
利子	10	4
雑収入	200,235	219,565
繰越金	3,805,755	244,431
借入金	0	600,000
合計	7,360,000	3,358,000

支出の部

会議費	730,000	700,000
石桜会補助金	400,000	250,000
印刷費	470,000	470,000
慶弔費	120,000	30,000
通信費	760,000	610,000
事務費	5,000	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	490,000	450,000
特別会計編入	2,000,000	100,000
クラブ強化育成基金	2,000,000	600,000
予備費	325,000	83,000
合計	7,360,000	3,358,000

II　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成16年度予算額
一般会計より編入	2,000,000	100,000
利子	5	15
返戻金	0	600,000
繰越金	938,740	838,738
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	0	0
合計	2,938,745	1,538,753

支出の部

一般会計へ	0	600,000
名簿印刷	2,900,000	0
返戻金	0	0
合計	2,900,000	600,000

平成16年度決算報告書

I　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成16年度予算額
会費	1,134,000	1,134,000
入会金	810,000	810,000
総会会券代	395,000	350,000
賛助会費	3,995,360	—
利子	13	4
雑収入	203,510	219,565
繰越金	244,431	244,431
借入金	600,000	600,000
合計	7,382,314	3,358,000

支出の部

会議費	728,602	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	466,680	470,000
慶弔費	121,485	30,000
通信費	757,760	610,000
事務費	1,822	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	490,210	450,000
特別会計編入	100,000	100,000
返戻金	600,000	600,000
予備費	0	83,000
合計	3,576,559	3,358,000

II　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成16年度予算額
一般会計より編入	100,000	100,000
利子	2	5
返戻金	600,000	600,000
繰越金	838,738	838,738
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	0	0
合計	1,538,740	1,538,743

支出の部

一般会計へ	600,000	600,000
名簿印刷	0	0
返戻金	0	0
合計	600,000	600,000

石桜同窓会賛助会費 ありがとうございました

～スタート初年度分は、計480万円でした～

石桜同窓会費は現在、卒業時に終身会費を納入して頂いていますが、近年の少子化による生徒数の減少で、卒業時の終身会費のみでは運営の困難が予想されます。

そこで同窓会活動をより活発にするため、昨年から左のような同窓会賛助会費制度をスタートすることにしました。

石桜同窓会賛助会費制度

(一) 一口二、〇〇〇円として同窓生から賛助会員を募る。

(二) 一回の醵金が一〇〇口の場合及び歴年累積一〇〇口に及んだ場合は、石桜同窓会賛助フェローとして石桜同窓会長より石桜フェロー賞を贈呈する。

A　毎年末発行の石桜同窓会報を会員に送付の際、送金振込用紙を同封する。

B　様々な同窓生の会合の機会において、醵金を募る。

初年度は団体石桜フェロー賞一団体、個人は七名の方々でした。ありがとうございました。

〈個人〉

旧1回	昆　正助	10,000円
旧1回	遠藤貫中	10,000円
旧2回	土井尻正次	4,000円
旧3回	佐々木一郎	10,000円
旧3回	杉本正喜	10,000円
旧4回	横田　孝	10,000円
旧4回	鈴木藤吉	10,000円
旧4回	佐々木秀夫	10,000円
旧8回	黄　伝明	10,000円
旧9回	漆原国一	20,000円
旧9回	相原正毅	10,000円
旧9回	高橋秀夫	10,000円
旧9回	中村達雄	10,000円
旧10回	寺井常雄	10,000円
旧10回	佐藤正吉	10,000円
旧11回	松本滋夫	10,000円
旧11回	八重樫金十郎	200,000円
旧11回	小野寺　悟	2,000円
旧11回	大崎正夫	2,000円
旧11回	赤澤敏雄	10,000円
旧11回	小笠原順二	6,000円
旧12回	大志田　武	10,000円
旧12回	東根清蔵	10,000円
旧12回	千葉昌二	2,000円
旧12回	澤野亮二	10,000円
旧13回	吉島一郎	20,000円
旧13回	鱒沢　昇	4,000円
旧13回	杉江忠之助	10,000円
旧13回	赤坂祐三	4,000円
旧13回	大西　博	10,000円
旧13回	滝川忠夫	200,000円
旧13回	鈴木廣治	10,000円
旧13回	小野一成	2,000円
旧14回	清水端金吉	4,000円
旧14回	瀬野尾善夫	2,000円
旧14回	八柳　秀	12,000円
旧14回	川井寅雄	4,000円
旧14回	瀬川修一	10,000円
旧15回	李村正三	4,000円
旧15回	中村一雄	200,000円
旧15回	湯沢一晃	100,000円
旧15回	大澤　靖	4,000円
旧15回	足澤　至	200,000円
旧16回	福士俊朗	6,000円
旧16回	中島　昭	2,000円
旧16回	中村　登	2,000円
旧16回	田村光三	2,000円
旧16回	浅沼昭典	2,000円
旧16回	佐々木　敏	20,000円
旧17回	池ノ谷忠正	3,000円
旧17回	佐々木栄一	10,000円
旧17回	兼田弘一	4,000円
旧17回	和井内和夫	2,000円
旧17回	吉田省造	4,000円
旧17回	赤坂　等	10,000円
旧17回	伊藤昭一郎	10,000円
旧17回	三島勘一	10,000円
旧17回	菱川貞三郎	2,000円
旧17回	武田吉次	2,000円
旧18回	田中利昌	20,000円
旧18回	大釜賢三	2,000円
旧18回	佐々木昭徳	10,000円
旧18回	山口徳治郎	10,000円
旧18回	福士久也	2,000円
旧18回	菊池一郎	2,000円
1回	有原隆司	10,000円
1回	小原啓三郎	10,000円
1回	佐々木京一	2,000円
1回	高橋啓介	4,000円
1回	武田太良	10,000円
1回	佐々木哲孝	6,000円
2回	下越田益男	2,000円
2回	池野和夫	2,000円
2回	滝浦　護	2,000円
2回	伊藤虎之助	50,000円
2回	大森康身	2,000円
2回	細川　豊	5,000円
2回	渡辺勇次郎	10,000円
2回	村岡初男	2,000円
2回	井藤　博	10,000円
2回	栃内重雄	6,000円
2回	小向啓介	1,000円
2回	鈴木雄壽	10,000円
2回	志和健吉	10,000円
2回	田村純一	2,000円
2回	佐藤克巳	2,000円
2回	石川裕七	10,000円
2回	吉川孝正	10,000円
2回	設樂尹宏	4,000円
2回	村上照五郎	200,000円
3回	近藤義彦	10,000円
3回	伊藤秀蔵	10,000円
3回	吉田光政	6,000円
3回	山田利昭	2,000円
3回	川村昌司	2,000円
4回	上田勝彦	5,000円
4回	加藤　惠	200,000円
4回	照井武彦	2,000円
4回	佐藤岩夫	10,000円
4回	北田昭三	2,000円
4回	石川酉三	2,000円
4回	田鎖清毅	6,000円
4回	佐々木敬一	2,000円
4回	大橋義平	10,000円
4回	小山田良雄	10,000円
4回	荒浜順一	2,000円
4回	多田豊彦	10,000円
5回	西川重臣	10,000円
5回	渡邊真由美	10,000円
5回	吉田　勉	2,000円
5回	泉沢利之	2,000円
5回	中川　章	10,000円
5回	藤澤祐三	20,000円
5回	秋浜悟史	10,000円
5回	角掛　武	2,000円
5回	畑谷守良	10,000円
5回	西島康之	2,000円
5回	泉沢利之	2,000円
5回	藤澤祐三	10,000円
5回	下河原善嗣郎	200,000円
6回	及川省治	2,000円
6回	立木正勝	2,000円
6回	蒲澤忠仁	4,000円
6回	小林騏一郎	2,000円
6回	浦田　隆	6,000円
6回	城守英彦	4,000円
6回	小川義一	2,000円
6回	細川磐夫	10,000円
6回	佐川隆二	10,000円
7回	東野久松	10,000円
7回	阿部秀充	2,000円
7回	中西英夫	2,000円
7回	牛崎修治	4,000円
7回	古川知義	10,000円
7回	坂本義邦	10,000円
7回	伊藤　仁	10,000円
7回	晴山一正	2,000円
7回	高橋晴朗	2,000円
7回	吉田榮一	10,000円
8回	堀　孝範	4,000円
8回	工藤邦夫	2,000円
8回	高木智徳	6,000円
8回	片岡　充	2,000円
8回	田中義男	2,000円
8回	近津義一	2,000円
8回	鎌田耕一郎	2,000円
8回	兼平甚三郎	2,000円
8回	根田幸悦	2,000円
8回	平井　衛	2,000円
8回	竹花國夫	60,000円
8回	福井憲男	4,000円
9回	田沼重雄	2,000円
9回	澤村廣美	2,000円
9回	工藤強一	10,000円
9回	山岸道利	2,000円
9回	山田耕三	2,000円
9回	熊谷泰彦	10,000円
9回	小林泰宏	50,000円
9回	佐々木久夫	10,000円
9回	小枝指　博	10,000円
10回	上原　敬	2,000円
10回	小笠原郁夫	10,000円
10回	菊池敬志	20,000円
10回	小川宏司	2,000円
10回	松岡直彦	10,000円
10回	石井　隆	10,000円
10回	吉田充孝	10,000円
10回	松舘健五	2,000円
10回	平井敬久	2,000円
10回	福田　要	2,000円
10回	黒沼紘康	10,000円
11回	佐藤克吉	10,000円
11回	菅原國嘉	10,000円
11回	斉藤裕夫	2,000円
11回	岩持一見	10,000円
11回	小野寺峯雄	10,000円
11回	玉山哲史	2,000円
11回	小原幸司	2,000円
12回	佐々木嘉七	20,000円
12回	佐藤忠男	100,000円
12回	西山保五郎	2,000円
12回	長澤佳彦	10,000円
12回	吉田正範	30,000円
12回	鎌田靜稔	10,000円
12回	藤原孝四郎	10,000円
12・49回	鏡英夫・都社夫	10,000円
13回	小苅米淳一	6,000円
13回	柴内　昌	4,000円
13回	吉田久司	10,000円
13回	遠藤健悦	2,000円
13回	下田　淳	4,000円
13回	佐藤　洸	10,000円
13回	菅野　幸	6,000円
13回	松坂英孝	2,000円
13回	菊池利弥	2,000円
13回	下斗米　宏	30,000円
13回	高橋哲夫	10,000円
13回	福田武彦	6,000円
13回	木村勝一	2,000円
13回	猪去　勉	10,000円
13回	及川　紘	2,000円
13回	高橋英夫	2,000円
13回	横沢大造	2,000円
13回	岩瀬英宏	60,000円
13回	駒嶺高幸	2,000円
13回	斉藤富夫	10,000円
14回	昆　碩	2,000円
14回	大沼信行	2,000円
14回	高橋正伍	2,000円
14回	佐藤弘吉	10,000円
14回	武藤正吾	10,000円
15回	肥田秀彦	10,000円
15回	似内　裕	4,000円
15回	樋沢　晃	2,000円
15回	高橋憲史	10,000円
15回	道又和人	2,000円
15回	藤村昌信	10,000円
15回	田口信之	2,000円
15回	渡辺洋一	4,000円
15回	七木田一善	6,000円
16回	吉田　建	2,000円
16回	工藤正身	2,000円
16回	今泉博雄	20,000円
16回	小田　宏	10,000円
16回	滝浦弘士	2,000円
16回	玉山幸男	2,000円
17回	中沢正博	10,000円
17回	泉田栄一	10,000円
17回	阿部聖朗	2,000円
17回	小野義郎	2,000円
17回	三上　彰	10,000円
17回	村井孝三	2,000円
17回	小笠原常之	10,000円
17回	吉田睦郎	20,000円
17回	柴田厚郎	10,000円
17回	山崎賢治	10,000円
17回	戸塚睦男	2,000円
17回	櫻井一男	10,000円
17回	広瀬祐一	6,000円
17回	和田康逸	10,000円
17回	二上憲育	10,000円
18回	照井武彦	2,000円
18回	兼平俊朗	2,000円
18回	中坪　正	10,000円
18回	澤口範雄	4,000円
18回	佐藤啓二郎	2,000円
18回	越戸輝雄	6,000円
18回	村井紀之	20,000円
18回	吉田勝次	10,000円
18回	間瀬半蔵	10,000円
18回	熊谷義昭	2,000円
18回	竹原純悦	2,000円
18回	古関裕平	4,000円
19回	中村　一	2,000円
19回	高橋克彦	10,000円
19回	才川文夫	10,000円
19回	浦田栄治	2,000円
19回	鎌田真逸	2,000円
19回	吉田正夫	2,000円
20回	藤澤敬有	10,000円
20回	小田島祥司	10,000円
20回	高橋雪夫	20,000円
20回	佐々木良夫	2,000円
20回	藤原信一	2,000円
20回	田中健一	10,000円
20回	村上公一	2,000円
20回	長谷川良久	2,000円
21回	高松三郎	10,000円
21回	小泉邦義	10,000円
21回	明戸　均	4,000円
21回	黒沢重人	4,000円
21回	武田真和	10,000円
21回	阿部　寛	2,000円
21回	八重嶋雄光	2,000円
21回	佐々木憲一	10,000円
22回	桑原伸行	10,000円
22回	宇部俊士	4,000円
22回	八木橋輝夫	2,000円
23回	佐々木哲也	10,000円
23回	安食　久	10,000円
24回	橋本　英	2,000円
24回	桜井保典	2,000円
24回	畑澤昌美	10,000円
24回	橋本　晃	20,000円
24回	黒田　晋	10,000円
24回	畠山千春	6,000円
24回	上村章夫	10,000円
24回	佐々川　哲	2,000円
24回	川村市宜	5,000円
24回	井上成一	10,000円
24回	乃村　巌	2,000円
25回	晴山弘己	10,000円
25回	岩崎剛	2,000円
25回	藤村茂信	6,000円
25回	向井田隆生	6,000円
25回	高橋　亨	2,000円
25回	出雲克明	2,000円
26回	阿部　正	6,000円
27回	田村泰俊	2,000円
27回	金谷純一	10,000円
27回	永井　隆	2,000円
28回	福島　信	2,000円
29回	藤根俊一	200,000円
29回	上野信之	2,000円
30回	和田健一郎	4,000円
30回	木川田真佐美	2,000円
31回	菅原一也	10,000円
31回	晴山祥悦	2,000円
31回	西村典久	2,000円
32回	八重樫道晴	2,000円
33回	下斗米宗智	4,000円
34回	根反信之	2,000円
34回	藤倉優幸	2,000円
34回	渡邊　要	2,000円
34回	工藤　優	2,000円
34回	足澤　享	10,000円
35回	古屋敷俊雄	10,000円
36回	佐々木靖明	2,000円
36回	渡辺昌文	10,000円
36回	竹花国信	10,000円
37回	一戸　晃	10,000円
37回	金子眞也	50,000円
37回	富岡靖博	2,000円
40回	藤原大知	2,000円
40回	西村昌浩	2,000円
40回	高嶋　誠	4,000円
41回	熊谷信太郎	2,000円
41回	菊地和也	2,000円
41回	田口昌芳	2,000円
41回	寺田和宏	2,000円
41回	竹花純司	10,000円
43回	千葉　基	2,000円
43回	儀俄雅生	2,000円
44回	田口昭隆	2,000円
45回	鶴田　摂	10,000円
46回	村井智紀	2,000円
46回	村田真介	2,000円
46回	中村仁彦	2,000円
47回	田中崇一	2,000円
47回	高橋大希	4,000円
48回	木村洋一	2,000円
48回	高橋良構	4,000円
48回	佐々木康徳	10,000円
48回	藤村康徳	6,000円
49回	宮崎　力	10,000円
49回	川村将史	2,000円
49回	小笠原　猛	2,000円
49回	石塚昌弘	2,000円
49回	吉川克也	4,000円
49回	松尾謙一	2,000円
53回	山本藤幸	2,000円
53回	阿部史日呼	10,000円
54回	村山翔太	2,000円
54回	中沢茂樹	2,000円
54回	小野寺　圭	20,000円
54回	菅井祐輔	10,000円
54回	小野真平	2,000円
55回	中村耕次	2,000円
55回	岩間昭造	6,000円
55回	前田　学	4,000円
55回	下田正紘	2,000円
55回	三浦　泉	2,000円
56回	藤澤敬紹	10,000円
56回	林　秀峰	2,000円
56回	千田幸弥	2,000円
56回	加藤信之	2,000円
56回	古舘　雅	4,000円
56回	下川原邦彦	2,000円
56回	佐々木孝洋	2,000円
56回	高田紳也	2,000円
56回	関根大二郎	2,000円
56回	近藤裕佑	2,000円
中学2	櫻井　勇	4,000円
中学3	山屋彰男	4,000円
中学4	工藤　大	2,000円
中学4	達増岸夫	2,000円
中学4	佐藤　光	2,000円
中学6	和田博泰	10,000円
中学8	池野正幸	2,000円
中学9	長澤壽八	2,000円

〈団体〉

第5期会	200,000円
11回生	14,000円

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL (623) 2622

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷　忠　正
材木町信用金庫向　TEL(622)7457

大小御宴会・御商談等に
御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

肉のデパート
丸　岩
盛岡市上田一丁目7の11　TEL(624)6565

メンズファッション＆スクールウェア
㈱ 佐藤被服
本社　盛岡市肴町　TEL　代(624)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター
TEL　代(637)2661

懐石料理とわんこそばの店
初（はつこま）駒
盛岡市八幡町10-21　電話　019-651-7184
(盛岡八幡宮前)

平成17年度　クラブ活動成績

陸上部
第57回岩手県高等学校総合体育大会盛岡地区予選大会出場
平成17年度春季期陸上大会出場
第57回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技出場
やり投げ第6位　藤村善貴　記録46m76（東北大会出場権獲得）
第60回東北高等学校陸上競技大会出場
やり投げ第33位　藤村善貴　記録42m62
第57回岩手県民体育大会陸上競技盛岡地区予選大会出場
平成17年度岩手県陸上競技選手権大会出場
第57回岩手県民体育大会陸上競技大会出場　やり投げ決勝進出
平成17年度新人陸上盛岡地区予選大会出場
平成17年度秋季陸上競技会出場

ソフトテニス部
第39回全日本私立高等学校ソフトテニス大会出場
第13回関東近県研修大会出場　優勝
オダワラキャッスル杯出場　ベスト16
第57回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技男子団体ベスト8
第57回岩手県民体育大会ソフトテニス競技
少年男子　第3位　鎌田啓輔・加藤範久組（国体出場権獲得）
平成17年度宮古協会長杯ソフトテニス大会出場
個人第3位　菊地一翔・西堀浩史組
U-18候補強化練習会兼平成17年度岩手県新人ソフトテニス大会地区予選大会出場
第50回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技出場　団体準優勝
個人ベスト8菊地・西堀組　ベスト16阿部・千葉組
第32回東北私立高校ソフトテニス選手権大会出場　団体ベスト16

バスケットボール部
第57回盛岡市民体育大会　優勝
第57回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技ベスト8
第57回岩手県民体育大会バスケットボール競技出場
第51回岩手県高等学校新人バスケットボール大会出場

バレーボール部
第57回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会出場
第57回岩手県民体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会出場

ハンドボール部
第57回盛岡市民体育大会出場
第57回岩手県高等学校総合体育大会ハンドボール競技出場
第49回岩手県高等学校新人大会ハンドボール競技出場

ラグビー部
第57回岩手県高等学校総合体育大会ラグビー競技出場　Bブロック残留
第57回岩手県民体育大会ラグビー競技出場
第85回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場
第38回岩手県高等学校新人ラグビーフットボール大会出場

柔道部
第57回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
平成17年度市内高校・一般春季十人制柔道大会出場　第3位
第57回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技
男子団体ベスト8
個人100kg超級第3位　小笠原大輔　（東北大会出場権獲得）
100kg級ベスト8西舘　90kg級ベスト8井上　ベスト16菅井
第57回岩手県民体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
第37回盛岡市中学校総合体育大会柔道競技
男子個人81kg級優勝　内藤清和
第55回東北高等学校柔道大会出場
第57回岩手県民体育大会柔道競技出場　無差別級第2位小笠原大輔
第38回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会出場
平成17年度盛岡市中学校新人大会柔道競技　81kg級優勝　内藤清和
第45回南部地方柔道三戸大会出場

剣道部
第29回北鷗旗争奪剣道大会　ベスト16
第57回盛岡市民体育大会剣道競技出場
第57回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技出場　団体ベスト16
第57回岩手県民体育大会剣道競技出場　団体ベスト16
第38回三陸沿岸剣道選手権大会出場
第55回盛岡地区剣道大会出場
第5回秋季高等学校一関剣道錬成会参加
第17回剣誠旗争奪高等学校剣道大会出場
第6回「'99岩手総体」記念高等学校剣道大会出場

山岳部
第3回稲庭岳登山マラソン大会　第1位服部　第2位阿部　第4位石塚　第5位近藤　第6位小野寺
第57回岩手県高等学校総合体育大会登山競技　男子団体優勝
岩手県クライミングコンペ・岩手県山岳マラソン大会出場
第57回岩手県民体育大会山岳競技
クライミング2位Bチーム　縦走2位Dチーム
平成17年度　岩手県高等学校新人大会登山競技出場
学校対抗第2位　男子チーム対抗第1位
平成17年度岩手県クライミング選手権大会出場
少年男子の部　1位近藤　2位小野寺　5位瀧川　6位石塚、久保田
平成17年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）
登山競技男子縦走第5位

テニス部
第57回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技盛岡地区予選(平成17年度盛岡市民体育大会)
第57回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技
団体優勝（東北大会・インターハイ出場権獲得）
男子シングルス　優勝　谷地彬人
（東北大会・インターハイ出場権獲得）
男子ダブルス　優勝　谷地彬人・阿部蘭組
（東北大会・インターハイ出場権獲得）
準優勝　上打田内康太・高橋圭滋組
第46回東北高等学校テニス選手権大会　団体ベスト8
男子ダブルス　準優勝　阿部蘭・谷地彬人組
第62回全国高等学校総合体育大会テニス競技出場
第27回東北中学生テニス選手権大会出場
第12回岩手県秋季ジュニアテニス大会出場
シングルス第1位　戸井ロ一矢
第22回岩手県高等学校一年生テニス選手権大会
シングルス準優勝　工藤　将
ダブルス優勝　工藤将・鎌田知希組
全日本ジュニアテニス選手権大会2005出場
第27回東北ジュニアテニス選手権大会出場
16歳以下シングルスベスト8　高橋圭滋
ダブルス　第3位　上打田内康太・高橋圭滋組
ベスト8　工藤将・戸井ロ一矢組
18歳以下シングルス準優勝　谷地彬人
ダブルス　ベスト8　阿部蘭・谷地彬人組
第57回岩手県民体育大会テニス競技
少年男子　シングルス優勝　谷地彬人　準優勝高橋圭滋
ダブルス　優勝　谷地彬人・高橋圭滋組
準優勝阿部純・柳田直人組
第37回岩手県高等学校新人テニス大会盛岡地区予選大会出場
平成17年度第37回岩手県高等学校新人テニス大会兼第28回全国選抜高校テニス大会岩手県大会
男子団体　優勝
男子シングルス　優勝　谷地彬人　準優勝　高橋圭滋
第3位　柳田直人
男子ダブルス　優勝　谷地彬人・上打田内康太
準優勝　高橋圭滋・工藤将組
柳田直人・阿部純組
平成17年度第26回東北高校テニス大会・第28回全国選抜高校テニス東北地区大会
男子団体　準優勝

水泳部
第57回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技出場

サッカークラブ
第57回岩手県高等学校総合体育大会サツカー競技盛岡地区予選大会出場
第57回岩手県民体育大会サッカー競技盛岡地区予選出場
第84回全国高等学校サッカー選手権大会岩手県大会出場　ベスト16

スキー部
岩手県アルペンスキー記録競技会
近藤竜紀　GS7位／84　柏木大地　SL43位／83
GS31位／84
全日本スキー連盟B級公認秋田八幡平スラロームスキー大会出場
第47回月山GSスキー競技会
高校男子　第12位田口　第16位高橋　第21位瀧川
第13位小野寺　第7位阿部
中学男子　第13位近藤　第22位柏木

硬式野球部
第52回春季東北地区高等学校野球岩手県大会盛岡地区予選出場
第87回全国高等学校野球選手権岩手大会出場
第58回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会盛岡地区予選出場

囲碁将棋部
第27回岩手県高等学校将棋大会
男子団体優勝（3年連続5回目）　（全国大会出場権獲得）
男子団体B級第3位
男子個人戦A級準優勝　工藤元（全国大会出場権獲得）
ベスト8　野里聡
第29回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会
男子団体　ベスト8　谷藤・山縣・浦辺　組
男子個人戦第3位　浦辺賢太郎（全国大会出場権獲得）
平成17年度全国中学生選抜将棋選手権岩手県予選大会
準優勝　澤口諒允（全国小中学生大会および全国都市対抗戦出場権獲得）
平成17年度岩手県高等学校将棋竜王戦　A級準優勝工藤元　第4位野里聡
ベスト8佐々木裕太郎
平成17年度久慈場所段位認定将棋大会
高段の部ベスト8工藤元
三段位獲得戦準優勝　澤口諒允
初段位獲得戦第三位野里聡、今井孝之
平成17年度北奥羽囲碁選手権大会出場
文部科学大臣杯第1回小・中学生将棋団体戦出場
第1回東日本都市対抗囲碁将棋大会出場
第30回全国中学生将棋名人戦出場　ベスト32　澤口諒允
大山名人杯将棋大会出場　有段A組　第3位　工藤元　有段B組優勝澤口諒允　無段組　第3位野里聡
第20回全国オール学生将棋選手権団体戦出場　高校第3位
第14回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会
男子個人戦準優勝浦辺賢太郎
級位戦全勝荒川雄（東北大会出場権獲得）
男子団体戦優勝
平成17年度大山康晴十五世名人アマ王将戦東北ブロック予選大会
大山康晴十五世名人杯　ベスト16工藤元　予選通過　西田明斗
天童将棋大会　中学生の部　優勝　西田明斗　準優勝　澤口諒允
第24回岩手県高等学校将棋新人大会出場
男子個人戦　A級　準優勝　工藤元（全国・東北大会出場権獲得）
B級　ベスト8　藤澤美彦
男子団体戦　A級　優勝　A1チーム　準優勝　A2チーム
B級　準優勝　B1チーム　ベスト8　B2チーム
第19回東北地区高校囲碁選手権大会
団体戦（県対抗の部）優勝（副将：浦辺賢太郎）
級位者戦　8位荒川雄

化学部
盛岡市立こども科学館祭りサイエンスラボ運営参加
第15回モデルロケット全国大会出場
高度競技　11位岩崎　14位白澤
定点着地競　9位小笠原　11位高江
パラシュート滞空時間競技　4位小笠原　9位高橋

吹奏楽部
平成17年度全日本吹奏楽コンクール盛岡地区予選大会金賞（県大会出場権獲得）
平成17年度第43回全日本吹奏楽コンクール岩手県大会金賞（東北大会出場権獲得）
平成17年度第43回全日本吹奏楽コンクール東北大会出場
第28回岩手県北マーチングフェスティバル出場（東北大会出場権獲得）
平成17年度東北マーチングフェスティバル出場
平成17年度全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜出場

映画部
第52回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会　創作テレビドラマ部門　第1位（全国大会出場権獲得）
第52回NHK杯全国高校放送コンテスト　創作テレビドラマ部門「復活」制作奨励賞受賞

絵画部
平成17年度第28回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
絵画部門　入選　豊村勇允　立体部門　入選　吉田勇輔

書道部
平成17年度第28回岩手県高等学校総合文化祭書道展
入選　吉田裕行　吉田理　鳥居義武

写真部
平成17年度第28回岩手県高等学校総合文化祭第24回岩手県高等学校写真展出品

入学試験要項

選抜種類（専願／併願）		クラブ推薦入試（専願）	調査書推薦入試（併願）	前期入試（専願）	前期入試（併願）	後期入試（併願）	二期入試（専願）
募集コース ■特理コース 国公立理系学部、医歯薬系大学進学を目指すコースです。【30名】	出願資格		平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒		平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒
	出願条件		中学3年次の5教科評定平均が3.8以上で、中学校長が推薦する生徒		なし	なし（前期入試の合否にかかわらず再受験できます。特待再チャレンジ・志望コース再チャレンジが可能です。）	合格後は入学が確約できる生徒 なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
■特文コース 国公立文系学部、難関私大文系学部を目指すコースです。【30名】	出願資格		平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒		平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒
	出願条件		中学3年次の5教科評定平均が3.8以上で、中学校長が推薦する生徒		なし	なし（前期入試の合否にかかわらず再受験できます。特待再チャレンジ・志望コース再チャレンジが可能です。）	合格後は入学が確約できる生徒 なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
■総合進学コース 大学・短大・専門学校への進学、公務員・民間就職試験など、多様な希望に対応するコースです。【140名】	出願資格	平成18年3月卒業見込みで、在学中の県大会規模以上の大会で顕著な成績を収めた者、またはその種目で本校顧問が、優れた能力を有すると認めた生徒		平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒	平成17年3月卒業または平成18年3月卒業見込みの生徒
	出願条件	本校顧問が中学校顧問を通して本人に連絡を取り、その上で中学校長が推薦する生徒		本校を第一志望とし、合格後は入学が確約できる生徒	なし	なし（前期入試の合否にかかわらず再受験できます。特待再チャレンジ・志望コース再チャレンジが可能です。）	合格後は入学が確約できる生徒 なお、本校の他試験を既に受験した者は再受験を認めません。
選抜方法		・調査書 ・中学校長推薦書 ・面接	・調査書 ・中学校長推薦書	・学力試験（国・数・社・英・理）※高得点3教科の合計点 ・調査書 ・面接	・学力試験（国・数・社・英・理） ・調査書	・学力試験（国・数・社・英・理） ・調査書	・作文 ・調査書 ・面接
出願期間		1月11日（水）～1月12日（木） 午前9時～午後4時				1月23日（月）～1月26日（木） 午前9時～午後4時	3月20日（月） 午前9時～午後4時
試験日（試験場）		1月13日（金）（本校）	課さない	1月13日（金）（本校　宮古　二戸）		1月27日（金）（本校）	3月22日（水）（本校）
合格発表		1月17日（火） 午後4時本校校舎に掲示　ホームページ発表　（合格通知書は、中学校長を通して本人にお渡しします。）				1月30日（月）	3月23日（木） 合否は本人と中学校に直接通知します。
受験料		10,000円　（後期入試を再受験する場合、受験料は不要です。）					
入学手続	公立発表前	1/31～2/7 入学金免除		1/31～2/7 110,000円		1/31～2/7 60,000円	
	公立発表後		3/16～3/17 110,000円		3/16～3/17 110,000円	3/16～3/17 50,000円	3/24 110,000円
優遇制度	学業特待	なし	中学3年次の5教科評定平均が4.5以上で、品行方正な者は、入学金・授業料（学年更新）を免除します。	学力試験の得点平均が85点以上で、品行方正な者は、入学金・授業料（学年更新）を免除します。			なし
	クラブ特待	◆入学金全員免除 ◆クラブ活動の成績が優秀な者は、選考の上、3年間の授業料を全額または半額免除します。	なし				
	家族特待	なし	家族（父・兄）に卒業生や在校生がいる入学者は入学金を免除します。				なし
	在学生奨学金	◆本校入学後に、学業優秀、品行方正で、毎学年末平均85点以上の成績を収めた者は、選考の上、当該学年間の授業料に相当する奨学金を授与します。 ◆本校入学後に、クラブ活動で、東北大会、全国大会において優秀な成績を収めた者にも毎学年末選考の上、奨学金を授与します。					

調査書推薦入試・前期（併願）入試は公立高校発表後の学納金納付となります。

石桜歌詞懇話会こと始め

昨年9月、校歌並びに応援歌の正統なる歌詞・曲譜の追究と母校の優れた伝統文化の継承を目的に、「石桜歌詞懇話会」が結成された。

発足会員は会長の大坪幸平氏（旧17回）他12名。活動の手始めとして、先年発売された「校歌・応援歌集CD」に関する若干のアンケートを会員に試みた。

①「校歌・応援歌集CD」を所有又は聴いたことがあるか？　はい10　いいえ2
②その感想は？
よい7　普通4
よくない2（複数回答1）
③歌詞の一部に誤りが指摘されるが、その処置は？
そのままでよい1
改めるべき11

アンケート結果についてはその他自由意見、アドバイス等と含め去る6月30日に学校側に提出し、向後検討善処頂くことになった。

一例として第四応援歌の正確な歌詞は―

一、あゝ永劫の気に溢れ
旺んなるかな石桜は
歴史ぞ薫る友愛の
兄弟ここに集いたる
この日を誰か仰がざる

二、起て八百の健男児
試練の時は今なるぞ
正気の歌に轟ける
天地は広し我らまた
高き理想に進む者

三、あゝ永劫の天の下
旺んなるかな石桜は
若き息吹の健児らが
今を生命の躍動と
進むを誰か阻むらむ

因みにこの応援歌は昭和28年の作で、本会員の佐川隆二氏（新6回）作曲、吉田榮一氏（新7回）作詞になるものである。

従来より校歌並びに各応援歌は、代々の応援団により歌唱指導が行われて来たが、歌詞の意味や音譜の正確性については、少なからず疑問の箇所があった。

仮に「誤り」が判明すれば、作詞・作曲者への敬意と共に、時機を逸することなく改めるべきとの本会々員の共通認識が今回の提言に至った次第。このことが在校生のためのみならず、多くの卒業生へも些かの標となれば幸いである。

（横田英司・新11回）

生内義夫先生作曲　水原一先生作詞の　CD-R盤贈られる

昭和20年代、母校音楽の生内義夫先生は同じく国語教師だった水原一先生の作詞に作曲をして岩手中・高創立25年祝典歌をはじめ岩手山、北上川を題材に、あるいは岩女寮歌等数多くの作品を残された。新5回生の畑谷守良氏は新2回生の井藤博先生、新5回生の安西弘次氏、新6回生の佐川隆二氏等の協力を得ながらこれを記録したCD-Rを作成、石桜同窓会事務局へ寄贈された。

■主な合格大学及び進路先（最近5ヵ年の状況）

大学、短大合格者は卒業生を含む

大学名＼年度	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17
〔国・公立大学〕					
北海道大	0	0	1	0	0
弘前大	1	0	0	0	0
岩手大	6	9	5	4	1
秋田大	0	0	2	0	0
福島大	1	2	0	0	0
山形大	0	2	0	0	0
茨城大	1	0	0	0	0
筑波大	1	0	0	0	0
横浜国立大	1	0	0	0	0
静岡大	0	0	1	0	0
岩手県立大	7	1	0	2	0
上越教育大	0	0	0	0	1
その他	3	5	2	0	2
合計	21	19	11	6	4
〔私立大学〕					
札幌大	3	3	0	0	4
札幌学院大	3	1	1	0	0
北海道工業大	2	0	0	0	6
函館大	1	0	0	0	0
青森大	2	6	3	6	1
八戸工業大	6	3	6	3	8
岩手医科大	4	3	6	2	0
盛岡大	8	9	13	5	2
富士大	6	2	8	4	5
東北学院大	13	16	11	5	4
東北工業大	7	3	5	4	4
東北福祉大	0	2	2	1	0
石巻専修大	6	0	2	2	2
秋田経済法科大	6	6	6	3	3
いわき明星大	0	2	1	0	2
千葉商科大	1	1	1	2	0
青山学院大	3	1	1	0	0
亜細亜大	0	0	0	1	0
学習院大	1	0	0	0	0
北里大	2	0	0	0	0
専修大	1	0	1	0	0
国学院大	0	0	0	0	1
工学院大	1	1	1	0	0
成城大	0	0	1	0	0
二松学舎大	1	0	2	0	0
国士館大	1	4	0	0	0
駒澤大	1	0	2	1	0
慶応大	0	0	0	0	1
大東文化大	1	1	2	2	0
拓殖大	1	2	2	0	0
中央大	0	0	1	0	0
帝京大	4	2	5	3	1
東海大	0	1	1	2	0
東京理科大	1	0	1	0	1
東京経済大	1	3	0	3	1
東京農業大	1	2	1	0	1
東洋大	0	2	2	3	3
日本大	8	9	10	5	5
法政大	1	2	1	1	0
神奈川大	3	5	2	3	2
関東学院大	2	5	0	1	1
明治大	2	0	0	1	0
早稲田大	0	1	0	0	1
同志社大	1	3	4	5	5
その他	40	46	59	48	56
合計	145	147	164	114	105
短期大学	15	14	8	5	4
大学校	0	0	0	0	5
専門学校	86	75	89	65	48
就職	24	16	19	13	12

支部だより

東京石桜同窓会

東京石桜同窓会（近津義一会長）は去る10月22日、東京・青山のダイヤモンド・ホールに在京同窓生など50数名が参集。村上照五郎会長ご夫妻も出席して「東京石桜同窓会のつどい」を開催した。

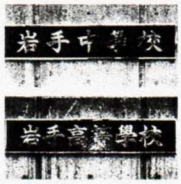
今年はNHK報道チーフカメラマン・高橋勉氏（新19回・現在帯広放送局勤務）に講演を願った。

昭和60年8月御巣鷹山に日航ジャンボ機が墜落した際、奇跡的に4人が生存、救助される一瞬の映像を独占取材した経緯が大型スクリーンの中で説明された。氏の数々の活動のうちでも特に印象的だった。

総会・懇親の部ではまず近津会長が挨拶、会員からの貴重な寄付金により母校に校名板（左写真）を寄贈した件につき報告、会員への感謝を述べると共に母校の繁栄を願うと結んだ。

次いで、遠路臨席された菊地治雄校長から母校各部の活動状況の報告がなされ、文化部門、運動部門それぞれに後輩たちの活躍ぶりが目に浮かぶようであった。

懇親の場では旧友がお互い健勝であることの確認、或いは本当に久しぶりの再会など、なごやかな雰囲気につつまれた。



最後は例年どおり全員での校歌斉唱、気分も引き締まり熱唱となった。

次回の再会を約束し、盛況のうちに閉会となった。

（鎌田耕一郎・新8回）

仙台石桜同窓会

第9回仙台石桜同窓会は去る6月4日（土）午後6時より仙台市榴岡「仙台ガーデンパレス」において開催された。今回は村上照五郎会長と青木文一教頭にご出席頂くとともに、特別講演を箱崎道朗氏（新5回）にお願いした。

小林陵二会長の開会挨拶に始まり村上会長の祝辞挨拶、事務局より会務報告、里見一栄監査役の監査報告のあと役員改選があり、全役員の留任が了承された。

引き続いて箱崎氏による「時代の変わり目」と題する郵政改革法案、靖国神社問題、中国の現状等に関する時局講演が行われた。氏は元産経新聞社論説委員で現在も客員論説委員として活躍され、今回当会の要請に応えて遠路東京よりご来仙。時宜を得た極めて興味深いご講演に出席の諸氏より満腔の敬意が示された。

以上総会は滞りなく進み、全員の記念撮影の後、懇親会に移る。

青木教頭先生の挨拶、盛岡からご参加の小泉仁左衛門氏（新5回）による乾杯の発声により宴に入る。

懇親の合間には交々の自己紹介があり、特に今回盛岡の小泉、藤沢祐三（新5回）の両氏、佐藤伸夫氏（新中2回）、漆戸芳夫氏（新11回）、渡辺充泰氏（新22回）の初参加もあって大いに盛り上がることになる。

宴もたけなわの中に恒例の校歌斉唱を以て8時30分、来年の再会を期して閉会となった。

「晩翠の校歌を歌う会」に出演

「土井晩翠先生が作詞した校歌を一緒に歌いましょうの会」が10月31日（土）午後2時から仙台市市民会館で開かれ、宮城県内外の小学校や旧制高校の在校生と卒業生約四百人が参加し、それぞれの校歌を披露した。

我校からも宮城県内卒業生有志10名が出演し、学校紹介ナレーションの後、「旭日ににおう桜花…」と声高らかに熱唱。会場からの大きな拍手を受けた。

今年3回目のこの会に初めて参加することになったが、今回我校を含む18校が出場し、毎回規模も大きくなりつつある。

今回出演者は次の通り。小林陵二（新3）、佐藤伸夫（新中2）、泉澤利之（新6）、小岡の小泉、藤沢祐三（新5）、阿部金蔵（新6）、小野寺祥一（新11）、横田英司（新11）、里見一栄（新13）、村井祐造（新16）、渡辺充泰（新22）、秋葉文弘（新56）の各氏。

（横田英司・新11回）

胆江地区石桜新年会

2月20日、水沢市・平安閣において、胆江地区石桜会の新年会を開催した。

当日は、日曜日であったが江刺市から3名、水沢市から6名の9名の参加。参加者には、現在も水沢市内で小児科の開業医としてご活躍している旧制15回生の中村一男さん、江刺市で教育長を務められ、現在も江刺市国際交流協会会長としてご活躍している新2回生の小野寺健哉さんの大先輩等胆江地区の会員の他、同地区の治安を守っている石桜会員も参加した。

新年会は江刺警察署次長の新20回生高橋隆一さんの音頭で始まり、大先輩の方々から戦時中の旧制中学の頃の学校生活、関東方面の軍事工場に動員された思い出や教官方の紹介があり、参加者は古き良き時代の旧制岩手中学に引き込まれた。

また、参加者からその時代への「岩手高校ルネサンス」が持ち上がるなど同会は多いに盛り上がった。

会場となった水沢市・平安閣は事務局となっている新30回生和山千春さんが支配人を務めるところで、次回の開催を約束し、水沢市内で寿し店を経営なさっている新20回生の藤沢邦夫さんの音頭で会を閉じた。

なお、11月20日には同じく水沢市平安閣において村上前同窓会長の出席をいただき、胆江地区石桜同窓会のつどいも行われた。

（佐藤　順・新25回）

胆江地区石桜新年会

クラブOB会

卓球部OB会

卓球部OB会は「岩手高校球友会」と名付けて新年会と納涼会（還暦祝い含む）を年2回、15～20人ぐらいの常連が集まって楽しく交遊を深めております。そして、OB会費の一部を現役の卓球部の活動費に援助しています。

インターハイ出場など輝かしい一時代があった卓球部ですが、世の中の変遷とともに、岩手高校だけでなく、かつての強豪盛岡商業など盛岡勢が全く元気がなくなって、県北の大野高校など中国からプロ級の専門コーチをおくところが、強くなるのは必然の時代になっております。

このような時代に、指導者を招請して選手をスカウトすれば、すぐにある程度の成績はあげられるのですが、そこまでしてとの話になっているのが現状です。

剣道部OB会

OBの近況については、昨年と今年で常連の会員が、60歳前後で3名も他界され悲しい思いをしています。65歳になると36%があの世の住人というデータがありますから、全OBにおかれましても、健康に留意していただきたいと切に思うこの頃です。

（卓球部OB会・球友会会長　松村諭・新20回）

同期会

旧18、新1回同期会

3月1日、盛岡市・エスポワールいわてで22名の参加を得て開催された。

わが同期会は入学時は旧制だが卒業時は旧制の最後として出る者、新制高校1回生として一年残る者と二分された。しかしそのいずれかについては、あまり誰も意識せず気持ちの上での境目もない。戦後の自由な文化の洗礼は受けたものの、やはりどちらかといえば軍国少年の意識の方が濃厚だし、空腹と労働のつらさの方が自由の空気よりも根強いかも知れない。

九櫻会（新9回同期会）

4月9日盛岡市・ホテルルイズで、新9回の同期会がもたれた。前列右から2人目・新同窓会長に就任した小枝指博市会議員をはじめ、左隣の村上照五郎前同窓会長、恩師の吉見正信先生（宮沢賢治研究家・近代文学研究家）、菊地治雄現校長、西在家寛元校長、足沢礼子先生（元岩高・白百合高教師、足沢至先生夫人）等を囲んで盛会だった。

新10回同期会

新10回卒の同期会は6月11日、盛岡市・ホテル東日本で開催された。来賓は村上照五郎同窓会長のほか恩師の吉田良作、坂本悟郎、川村昌司の各先生、参加者は48名の盛況だった。

新18回生同期会

11月19日盛岡市・ホテル大観にて村上照五郎前同窓会長、菊地治雄校長を迎えて開催された。

新19回生同期会

11月26日、盛岡市・北斗で約20名が参会して行われた。

東京裁判の是非、靖国問題の是非などいずれ真面目にとり上げてみたいものである。

特定建設業
Z　株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎（新5回生）
代表取締役社長　下河原　大希（新36回生）
〒020-0403
岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL 696-2255㈹
FAX 696-2360

二〇〇五年秋の叙勲　受章者に岩根和夫氏ら

教育研究・スポーツ振興で瑞宝小綬章に輝いた旧17回生の岩根和夫氏は、元岩手大学助教授で県水泳連盟副会長。48年から岩手県水泳協会の理事・常任理事を務め、62年同協会が改称した県水泳連盟の初代理事長に就任、73年から副会長を務めた。56年から67年までは同連盟の強化委員長として70年の岩手国体に向け高校生を強化。また全国から集った新日鉄釜石の優秀選手を県代表として出場させ、好成績に結ばせた。

平成4年には盛岡水泳協会の理事長を務め、同協会を県内水泳協会で初の特定非営利活動法人（NPO）とした。07年本県開催の全国中学校体育大会に向けて、良い選手を育てたいと意欲を見せている。

新5回の細屋直躬さんも瑞宝小綬章受章

54年に岩手県に奉職、県農政部次長、監査委員事務局長などを経て91年から企業局長、県住宅供給公社など3公社理事長を務めた細屋直躬さんも、春の叙勲で瑞宝小綬章を受章した。

旧16回の佐々木節夫氏瑞宝双光章受章

公務員生活40年、大蔵省東北財務局に長く勤務された足立区綾瀬在住の佐々木節夫さんは、11月10日国立劇場で瑞宝双光章を受章のあと、皇居で拝謁の栄に浴した。

新4回の工藤大氏も瑞宝双光章受章

元陸上自衛隊第38普通科連隊副連隊長で八戸市在住の工藤大氏（三八五貨物自動車運送勤務）も、春の叙勲で瑞宝双光章に浴した。

村上照五郎前同窓会長17年度東北体育大会功労者表彰を受彰

新2回の村上照五郎氏は東北ソフトテニス連盟の会長であり、岩手県ソフトテニス連盟の会長としても長くその職にあるが、去る9月2日秋田市・秋田市文化会館において第32回東北総合体育大会中央開会式の席上、東北総合体育大会の健全な発展に貢献し地方体育の振興に顕著な成果を挙げたということで、東北体育協会連合会長・蒔田昭三郎氏より表彰を受けた。

OB通信

伊藤勢至氏（新17回）の岩手県議会議長就任を祝う会、四百名を集めて盛大に

去る6月、岩手県議会議長に同窓生として初めて着任の伊藤勢至氏の「就任を祝う会」が、9月15日ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで各界の著名人を集め盛大に行われた。

代表発起人は増田寛也岩手県知事、発起人は県医師会長、県町村会長、村上照五郎石桜同窓会長等で、岩手県議会議員をはじめ遠藤貫中岩手奨学会理事や、下河原善嗣郎石桜同窓会顧問も招かれ約四百名の盛会であった。

乾杯は村上照五郎会長の音頭で杯を高らかに上げた。

岩手県庁支部同窓会も11月10日同氏就任を祝う

岩手県庁支部同窓会も庁内勤務者のうち12名の有志が集まり、盛岡市内「味勢」で菊地治雄校長を招いて同氏の就任を祝った。

村上照五郎先生の旭日双光章受章を祝う会

前年に開催できなかった同窓生有志による表題の祝賀会は、鈴木総氏（新16回）の主唱で、氏がオーナーを務める盛岡市大通に新築落成したサンクイーンビル最上階の「クイーンズ・フォンテ」で、3月22日に行われた。

村上先生ご夫妻をお迎えし、旧17回の山口忠先輩をはじめ新41回卒まで79名の参加で盛大だった。